

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり49.6人の報告があり、多い状況が続いています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も第4週に56件、第5週(1月28日～2月3日)に24件(1月28日現在)報告されており、引き続き注意が必要です。

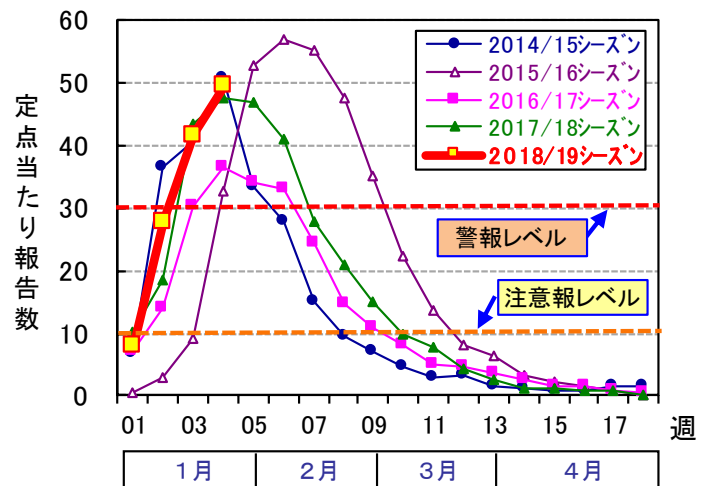
健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持、人混みへの外出は控えるなどの対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり6.58人の報告がありました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生も1件報告されています。

手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



【参考】厚生労働省 インフルエンザ(総合ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1834	49.57	37.18	急増減
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.34	増減
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	3.46	2.48	微増減
小児科	感染性胃腸炎	158	6.58	8.75	横ばい
小児科	水痘	5	0.21	0.72	
小児科	手足口病	2	0.08	0.16	
小児科	伝染性紅斑	2	0.08	0.40	
小児科	突発性発しん	8	0.33	0.38	
小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.04	
小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.36	
小児科	RSウイルス感染症	13	0.54	0.34	
小児科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
小児科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.60	
小児科	細菌性髄膜炎	-	-	-	
小児科	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
小児科	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	
小児科	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
小児科	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.43	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	9	男性(30歳代)、女性(40歳代)
4	A型肝炎	1	2	女性(20歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	1	男性(20歳代)・B型
5	急性脳炎	2	4	男性(10歳未満)、女性(10歳未満)
5	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	男性(60歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス)	感染性 胃腸炎
報告数	第52週	141	10	54	281	13	3	6	6	1	2	10	1	5	-	-	2	-	1	1
	第1週	273	2	21	98	5	-	2	-	-	4	9	-	6	-	-	2	-	2	2
	第2週	1,033	8	65	260	15	-	7	10	1	6	12	-	6	-	-	1	-	2	2
	第3週	1,545	2	52	153	4	5	5	4	-	3	12	-	2	-	-	-	-	-	-
	第4週	1,834	2	83	158	5	2	2	8	1	1	13	-	3	-	-	-	-	-	-
定点当 たり	第52週	4.15	0.42	2.25	11.71	0.54	0.13	0.25	0.25	0.04	0.08	0.42	0.13	0.63	-	-	0.29	-	0.14	0.14
	第1週	8.03	0.09	0.95	4.45	0.23	-	0.09	-	-	0.18	0.41	-	0.75	-	-	0.29	-	0.29	0.29
	第2週	27.92	0.33	2.71	10.83	0.63	-	0.29	0.42	0.04	0.25	0.50	-	0.75	-	-	0.14	-	0.29	0.29
	第3週	41.76	0.08	2.17	6.38	0.17	0.21	0.21	0.17	-	0.13	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-
	第4週	49.57	0.08	3.46	6.58	0.21	0.08	0.08	0.33	0.04	0.04	0.54	-	0.38	-	-	-	-	-	-
全国	第2週	38.54	0.42	2.10	7.52	0.55	0.14	1.00	0.36	0.02	0.10	0.39	0.01	1.03	0.03	0.03	0.29	-	0.06	0.06
	第3週	53.91	0.27	2.06	6.54	0.27	0.17	0.88	0.31	0.01	0.09	0.36	-	0.65	0.02	0.02	0.23	-	0.06	0.06

■新たに判明した病原体検出状況

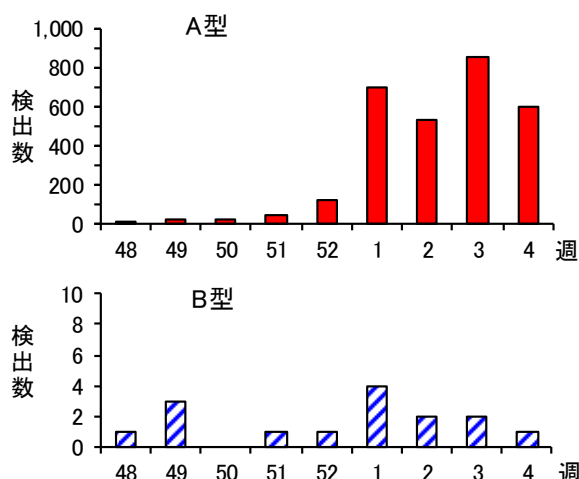
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼瞼腫脹	34	男	2018/12/17	結膜擦過物	アデノウイルス3型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼痛	38	女	2018/12/17	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	1	男	2018/12/18	鼻汁	ライノウイルス
その他の神経系疾患	発熱(39.1) 熱性痙攣	0	男	2018/12/16	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザ迅速診断キット検査結果 (2019年第4週現在)



基幹病院2か所における迅速診断キットによるインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計は、A型陽性が3,008人、B型陽性が16人と、A型が多くなっています。

また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注)では、今シーズンは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型が17件、インフルエンザウイルスA(H3)型が7件、B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)が1件検出されています(1月27日現在速報値)。

(注) 感染症発生動向調査における病原体定点等において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況については、国立感染症研究所HP「インフルエンザウイルス分離・検出速報」にてご確認ください。
(URL: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第4週(1月21日～1月27日)